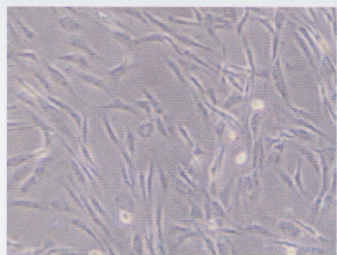


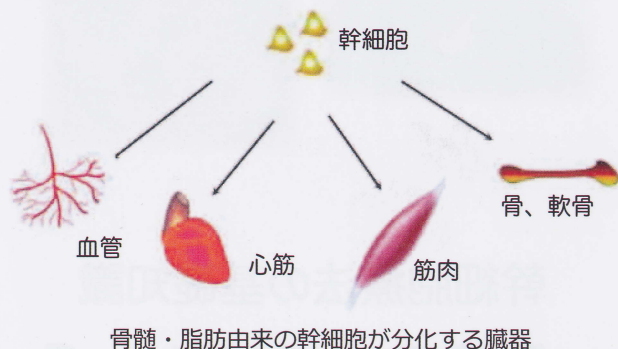
幹細胞療法って？

動物の体には、さまざまな器官や臓器などに変化する（「分化する」といいます）細胞が存在します。この細胞は幹細胞（かんさいぼう）と呼ばれ、幹細胞療法とは、この細胞を体外で培養し、イヌやネコの体に戻してあげることで、失われた臓器や怪我の再生を行う治療を行なう治療法です。



犬の皮下脂肪から単離して培養した脂肪幹細胞の顕微鏡写真（200倍）

幹細胞療法では二種類の幹細胞を使用します。ひとつは骨髓に含まれる骨髓液中に存在する骨髓幹（こつずいかん）細胞、もうひとつは、皮下脂肪の中に含まれる脂肪幹（しぼうかん）細胞です。



これら骨髓や皮下脂肪由来の幹細胞は、骨や軟骨、筋肉や心筋細胞、そして血管を形づくる細胞に分化することが知られています。

幹細胞療法は、これらの分化する能力を利用することで、自分の細胞から必要な器官や臓器を形成させることを目的とした治療法なのです。

どのような病気に効果があるのか？

骨折 骨折癒合不全

幹細胞が骨の周囲にある骨膜（こつまく）や、骨細胞、また栄養を運ぶ血管に分化することで、骨折部位を修復します。

脊髄損傷

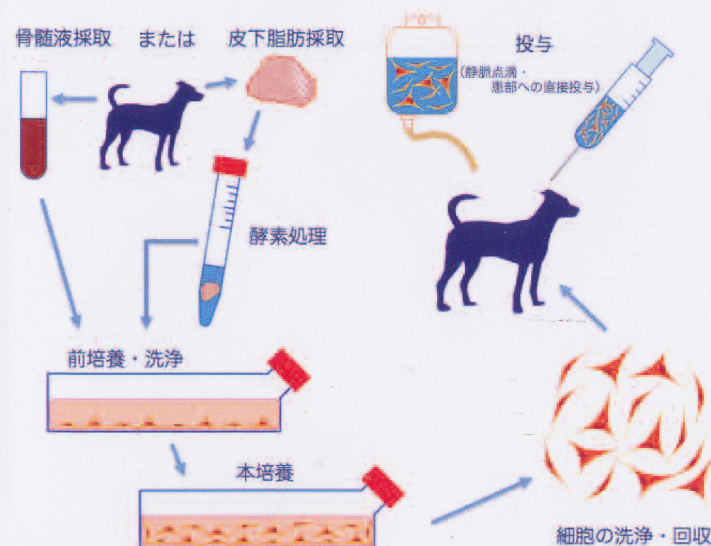
幹細胞が血管へ分化して、損傷部位の血流を回復することで、神経細胞の伸長を補助したり、脊髄全体の再形成を補助すると考えられます。

炎症性関節炎

関節部分の骨膜や軟骨部分が傷ついたりすると炎症を起こし、歩行が困難な関節炎になります。幹細胞を投与することで、関節に新たな軟骨や骨膜を形成させ、痛みをやわらげたり、炎症を回復させます。

治療の流れ

イヌ、ネコの骨髓液または皮下脂肪を採取し、それぞれ幹細胞を培養します。培養した幹細胞は清潔な環境で培養し、細胞の数を増やします。増やした幹細胞は、洗浄し、集めてから、患部への注射や点滴によって体内に戻します。



細胞の安全性について

幹細胞療法にもちいる細胞は、隔離された専用の機器など、無菌的で安全な環境下において培養されます。細胞の安全性については、バクテリアや真菌などのコンタミネーション（汚染）がないよう、細心の注意を払っております。

インフォームド・コンセント

イヌ、ネコの幹細胞療法を受けられるにあたって、その治療方法、ならびに、副作用、費用などについて担当の獣医師から詳しく説明させていただきます。当療法での治療を受けられるかどうかは、獣医師からの詳細な説明を受けた後、飼い主様が納得された上で、お決めください。

